逃走迷路（1942）

SABOTEUR

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 109分
初公開日 1979/04/28
公開情報 ＩＰ

【解説】

ヒッチコックがセルズニックからユニヴァーサルに貸し出されて撮った戦中の作品で、主演者への不満はあるが、クライマックスの自由の女神のシーンの素晴らしさが多少の不備は忘れさせる。監督でもあるＮ・ロイド（本篇の製作者でもあるＦ・ロイドの息子）の悪役が、必死の形相でしがみつく女神の指股からジリジリと滑っていく、あのスリル！　ヒッチ集大成「北北西に進路を取れ」に較ぶれば、無実の罪を被った男が真犯人を突き止める、十八番のストーリーもいささか未整理で、そのラストを効果的ならしめるために奉仕するにすぎない。航空会社に勤務するバリー（カミングス）は、軍需工場への破壊工作（光と影の生きた見事な放火シーン）の濡れ衣を着せられ、手錠のまま逃亡の身となるが……。真犯人を自ら捜し出そうとするヒーロー、それを助けるヒロイン。二人の危機的状況がほぼパラレルに描き出されるのがヒッチらしくない（それが絶妙に一本に縫り合わされてこそ彼のタッチだ）という気もする。

【クレジット】

監督	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock
製作	フランク・ロイド	Frank Lloyd
	ジャック・Ｈ・スカーボール	Jack H. Skirball
脚本	ピーター・ヴィアテル	Peter Viertel
	ジョーン・ハリソン	Joan Harrison
	ドロシー・パーカー	Dorothy Parker
撮影	ジョセフ・ヴァレンタイン	Joseph Valentine
音楽	チャールズ・プレヴィン	Charles Previn
	フランク・スキナー	Frank Skinner
出演	ロバート・カミングス	Robert Cummings
	プリシラ・レイン	Priscilla Lane
	ノーマン・ロイド	Norman Lloyd
	オットー・クルーガー	Otto Kruger
	アラン・バクスター	Alan Baxter

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.